

平成 27 年度遺伝子組換えカイコの飼育に係る飼育実験計画書補足説明資料

国立研究開発法人農業生物資源研究所における遺伝子組換えカイコの飼育について、つくば市「遺伝子組換え作物の栽培に係る対応方針」（以下「対応方針」という。）の 5 に基づき、飼育実験計画書に記載する事項として以下の点を補足します。

【飼育実験名】 緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ
(*HC-EGFP*、*Bombyx mori*) の飼育

【補足事項】

○対応方針の 5（栽培計画書に記載する事項）

⑩交雑及び混入等による不測の事態発生時の対処方法

- ・交雑及び混入等による不測の事態発生時は、状況把握と原因究明により更なる交雑及び混入の防止措置を徹底します。
- ・不測の事態発生に関する原因、状況及び対策等を、電話、電子メール、または文書により関係機関等へ連絡します。また、本件を周知するため、ホームページにお知らせを掲載します。

⑪防犯措置

- ・飼育実験区画に近い通用門を施錠します。
- ・飼育実験区画の見回りに加え、監視カメラにより 24 時間撮影し監視を行います。
- ・飼育実験区画において異常があった場合は、担当職員が直ちに現地に出向き状況を確認するとともに関係者へ連絡し、再発防止等必要な措置を講じます。
- ・関係機関等への連絡は、必要に応じて前項に準じて行います。